

検査項目対比表

検査項目等		組合が実施する健康診断*	特定健康診査	人間ドック検診	どんな検査？		
診察	問診、聴診、触診	○	○	○	医師が視診、聴診、触診、問診などを行います。		
身体計測	身長、体重、腹囲、BMI	○	○	○	身長と体重から体格指数（BMI）を算出し、肥満ややせの程度を判定します。		
	標準体重、体脂肪率	■		■			
血圧測定	収縮期血圧、拡張期血圧	○	○	○	心臓から送りだされた血液が血管に与える圧力を調べます。		
眼科	視力	○		○	目の見え具合を調べます。		
	眼底検査	○	★	○	目の奥の網膜を調べて、動脈硬化の程度などを判定します。		
	眼圧			■	眼球の圧力を調べます。		
聴力	1,000Hz、4,000Hz	○		○	低い音、高い音の聞こえ具合を調べます。		
血液検査	血液一般	赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値	○	★	○	からだに酸素を運ぶ血液の状態を調べます。	
		MCV、MCH、MCHC			○		
		白血球数	■		○	からだに侵入する細菌やウイルスを攻撃する白血球の数を調べます。	
		血小板	■		○	血を固めて傷口をふさぐ血小板の数を調べます。	
	脂質	中性脂肪、HDL-コレステロール	○	○	○	からだのエネルギー源となる中性脂肪や細胞の材料となるコレステロールの量を調べます。	
		LDL-コレステロール			○		
		総コレステロール			○		
	糖代謝	空腹時血糖、ヘモグロビA1c	○	○	○	血液中のブドウ糖の量や、過去1～2か月の血糖の平均を調べます。	
	肝機能	AST(GOT)、ALT(GPT)γ-GT(γ-GTP)	○	○	○	肝臓が傷つくと漏れ出る酵素の量を調べます。	
		LDH	■		○		
		総蛋白	■		○		血液中のタンパク質の量を調べます。
		総ビリルビン	■		○		血液の色素であるビリルビンの量を調べます。
	膵臓機能	アミラーゼ	■		■	膵臓から分泌される消化酵素の量を調べます。	
	腎機能	クレアチニン	○	★	○	からだの老廃物であるクレアチニンや尿素窒素の量を調べます。	
		尿素窒素	■		■		
		e-GFR	■		■		老廃物を尿として排出する腎臓機能の程度を調べます。
	尿酸	血清尿酸	■		○	からだの老廃物である尿酸の量を調べます。	
	血液型	ABO式、Rh式			■	血液型を調べます。	
	肝炎	HBs抗原、HCV抗体	■		○	肝炎ウイルスに感染しているか、または過去に感染していたかを調べます。	
	梅毒	RPR法、TPHA法	■		■	梅毒に感染しているかを調べます。	
炎症反応	CRP			■	からだに炎症が起こっているかを調べます。		
	RA			■	主に関節リウマチを診断するために調べます。		
	腫瘍マーカー	■		■	がん特有の特殊なタンパク質やホルモンの量を調べます。		
尿検査	尿蛋白、尿糖	○	○	○	尿に含まれるタンパク質、糖、血液の量や比重などを調べます。		
	尿潜血、尿Ph、尿比重、ウロビリノーゲン、尿沈渣	■		○			
大腸がん検査	便潜血反応検査	○		○	便に血液が混じっているかを調べます。		
心機能	12誘導心電図	○	★	○	心臓の動きに異常がないかを調べます。		
胸部検査	胸部レントゲン	○		○	肺や心臓に異常がないかを調べます。		
胃部検査	胃部レントゲンまたは胃内視鏡	■		○	食道、胃、十二指腸などに異常がないかを調べます。		
肺機能検査	肺活量、%肺活量、1秒率			○	肺の換気能力を調べます。		
超音波検査	腹部超音波	■		○	肝臓、胆のう、膵臓、腎臓などに異常がないかを調べます。		

○ …… 必須項目

★ …… 医師の判断に基づき実施する項目

■ …… 労働組合や医療機関によって実施の有無が異なる項目